

とらい&GROW

2021年
7月号
NO399
2021/7/1発行

2021年6月
霧ヶ峰高原 小畠 S撮影

守り切るのは 難しい (今月は話題二つ)

創業は易し、守成は難し

創業のほうがよっぽど難しいし、起業のエネルギーは並大抵ではない。オープンにこぎつけても成功するか否かわからない。しかし情熱は偉大だ。

反対に、会社を守る、守り切ることがいかに大変か…このコロナ禍はあらためてこの格言の意味を思い知らせてくれている。

コロナ後に元通りになるか…元には戻らないと思う。お客様の意識は変わった。変質して徐々に回復軌道に乗って来るのか。相当な時間を要するだろう。守るために攻めなくてはならない。小さくすることは攻めの手段でもある。手は必ずある。

成功している人なのに不幸に見える人

世の中に成功者と言われる人がたくさんいる。だが必ずしも幸せを感じさせない人がいる。あの大塚家具、もったいない話だ。

成功者であったはずが一転してしまった。

ほかにも例はたくさんある。成功し続けることは至難だ。一人で出来ることではない。社員、家族、仕入先、得意先、先輩…

目に見える関係、目には見えねど陰ながらの関係、が周りを取り巻いている。

皆、同じ方向を向いている。ひとりだけの成功はない。

コロナウイルスはいろいろなことを考えさせてくれている。

ともども頑張りましょう。

さわやか土曜塾のご案内

日時:令和3年7月10日(土)午前10時~11時30分

場所:CoccoTerrace(ココテラス)湘南 3F 貸会議室

電話 0466-34-8333

講師:北雄二講師 (公益財団法人モラロジー研究所 参与)

参加費:500円

仕事・家庭・健康…自分を振り返るとても貴重な時間です。



場所注意です!
辻堂駅北口より
徒歩5分
Luz とテラスモ
ールの間の道を
まっすぐ北へ。
神台公園の東側
(右側)です。

税務行政のデジタル・トランスフォーメーションについて



先月、国税庁より、「税務行政のデジタル・トランスフォーメーション～税務行政の将来像 2.0～」が公表されました。

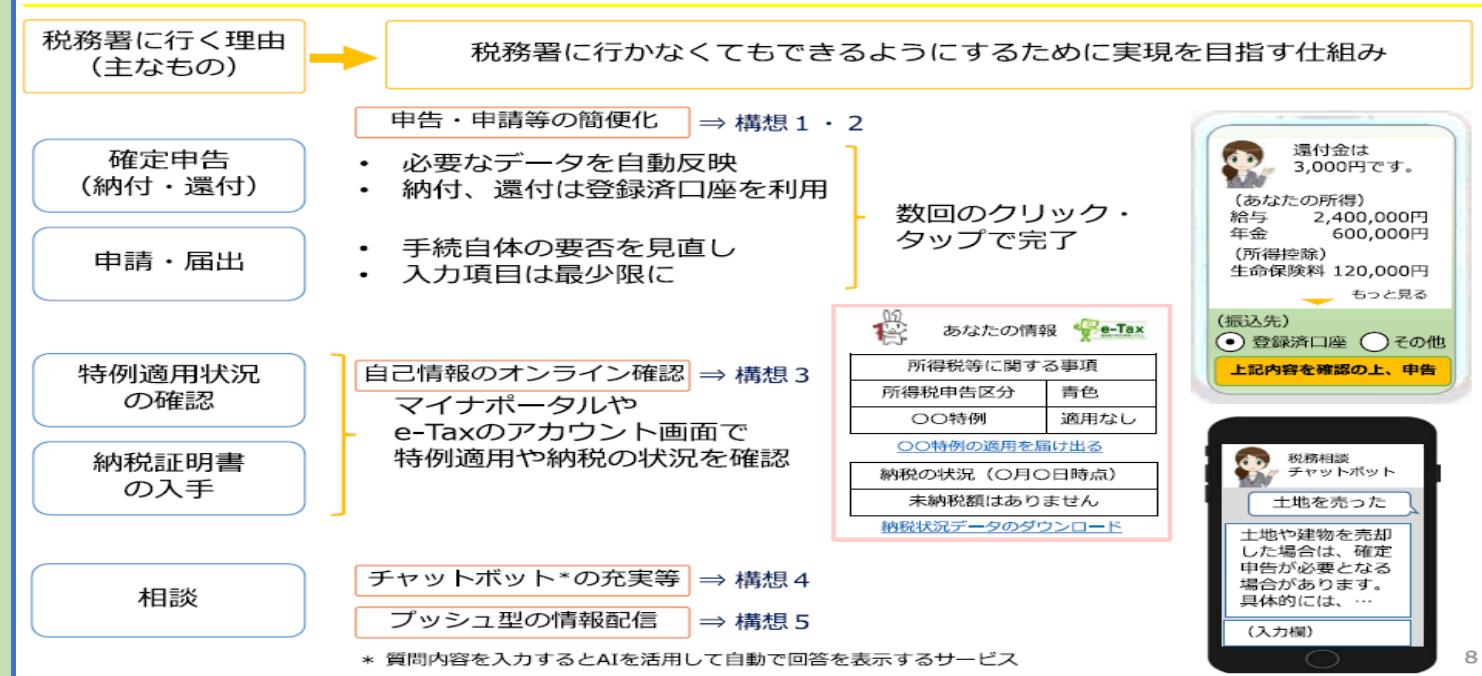
デジタルの活用によりサービスや仕事の在り方を変革する“デジタル・トランスフォーメーション”(DX)を推進する動きが社会全体で広まっていますが、行政のDXについても本年9月に設置されるデジタル庁の主導の下、取組が進められる予定です。

国税の分野においては、目指すべき将来像として、『納税者の利便性の向上と課税・徴収の効率化・高度化を2本の柱としつつ、「あらゆる税務手続が税務署に行かずにできる社会」に向けた構想を示すとともに、課税・徴収におけるデータ分析の活用等の取組を更に進めていくこと』としています。

所得税の確定申告においては、パソコン・スマホから電子申告できたり、質問事項を国税庁HPのチャットボット(※)から質問できたり、といったことが始まっていますが、これから更に、利便性の高い、適正・公平な税務行政が推進されていくことと思われます。

(※チャットボットとは、質問したいことをメニューから選択するか、自由に文字で入力すると、AI(人工知能)を活用して土日夜間でも自動で回答します。)

あらゆる税務手続が税務署に行かずにできる社会を目指して



(国税庁「税務行政のデジタル・トランスフォーメーション～税務行政の将来像 2.0～」より)

「三方よし」を目指す経営教室 が開催されました！

6月16日、藤沢商工会館（ミナパーク）にて、第1回「三方よし」を目指す経営教室が開催され、宇久田進治が講師を務めました。

「三方よし」は自分だけのもうけはありません。相手・社会、そして自分の三方の利益を優先する経営学です。

参加者の声:コロナをはじめとして、先行き不透明な情勢の中で自分(会社)が今何をすべきなのか？

その答えを求めて参加いたしましたが、やはり大事なのは『三方よし』だと改めて気づかされました。

次回開催は…7月15日(木)19時～藤沢商工会館(ミナパーク)5階にて



湘南中央法律事務所



宇久田会計事務所でもお世話になっている「湘南中央法律事務所」の弁護士長田誠先生に、我々職員が気になることを質問してみました。

長田先生は、2年前に独立されてから徐々に顧問先も増えております。今回の記事を通じて、法律事務所をより身近に感じていただければ幸いです。

Q:会社法務で最近増えている案件は何ですか

A:取引先と交わす対外的な契約書のチェックは相変わらず多いですが、最近は従業員と取り交わす秘密保持契約書の作成を依頼されることが増えました。従業員の定着率が低い会社や、急拡大した会社では、顧客情報や会社の機密情報などの管理について信頼関係だけに頼るのは危険だと判断が働くものと思われます。あとは、退職にまつわるトラブルも増えています。

Q:顧問先に「転ばぬ先の杖」としての弁護士の活用を案内する場合のおすすめポイント

A:契約書が交わされていなかったり、交わされているが内容を理解していない、という会社が多いことが気になります。例えば、「何をやるか」が曖昧なため、やってもらう側からすれば思っていたことがやってもらえない、やる側からするとやったのにお金を払ってもらえない、ということがあります。

誰が、いつまでに何をやったら、いつまでにいくらもらえるのか、契約の有効期間、という基本的なところを契約書で再確認して、曖昧なら作り直すことも検討した方がよさそうですね。

対内的には、やはり、従業員の労務管理について悩んでいる経営者が多いです。

従業員は、一度雇うと簡単には辞めさせられません。いきなり解雇は出来ず、能力が低い従業員に対しては能力向上のための教育訓練や配置転換を検討したり、勤務態度が悪い従業員には譴責などのイエローカードを積み重ねるなど、段階を踏むことが求められています。どのような人材を求めていて、どのようなルールで働いてもらうのかが明示されていないと、お互いにとって不幸な結果となってしまいます。



対外的にも対内的にも、どのような条件で関係を始めるのかを明確にしておく必要があります。

トラブルにならないための仕組み作りからトラブルになったときに悪化させないための火消し役として、弁護士を活用して頂けたらと思います。

「古久家」の酸辣湯麺と「札幌ラーメンこぐま」の牛乳ラーメンをこよなく愛し、湘南藤沢市民マラソンに毎年出場を誓う「日本一湘南を愛する弁護士」、趣味は極真空手・ベンチプレス(130キロ)、マラソン。

お問い合わせはお電話 0466-53-9722 か、HP から 24 時間メールで受け付けています。直接連絡取るには勇気がちょっと必要な場合は、所長の宇久田が担当まで一度ご連絡ください。

ホームページの検索は、「湘南中央法律事務所」、是非とも“中央”を入れてください。月額顧問料、報酬規程も明記されています。<https://shonanchuo-law.com> YouTube でも紹介動画が UP されています。

お客様紹介

今回は、茅ヶ崎市幸町にあります THE NYC BOX(ザ・ニューヨリカン・ボックス)様をご紹介させて頂きます。THE NYC BOX 様は今年の4月にオープンされたばかりで、キューバサンドを始めとした美味しい食事と、店主の坂井さんが作るカクテル、そして素敵な音楽が流れるお店となっております

キューバサンドとは

ローストポークやハム、チーズにピクルス、マスタードなどをはさんだサンドイッチです。もともとはアメリカのフロリダ州で働いていたキューバ人労働者の昼食として振舞われていたことからキューバサンドということです。映画『シェフ』でも登場いたします。

坂井さんがブルーノート東京にお勤めされた経験もあることから、本格カクテルが堪能できます。茅ヶ崎であまりなかった本格的なバースタイルを嗜みたい方はぜひ、お立ち寄りください♪



お勧めのキューバサンド！



店内もオシャレで、手前のキッチンカーは今後各地で出店予定！

がたり
問はず



ジレンマの毎日です



「会計で会社を強くする」が私たちの理念です。会社の土台は会計であり、土台がゆるいところに成長なし。

この理念に搖るぎはありません。が、このコロナ異変、いろいろ考えさせられます。何よりも売り上げが欲しい、お客様に来て欲しい、が最大の薬で最優先となります。今は非常時です。

しかし非常時であっても会計の土台はしっかりしておきたいものです。



レディオ湘南

毎週日曜日

18時～

18時30分

FM83.1

日曜日の日暮れ時、是非お楽しみください。



宇久田事務所はレディオ湘南のレジンドJ ざいつきげんさんの音楽鍋に番組提供をさせていただいております。



発行・編集 宇久田進治税理士事務所/株経営セントラーグロウ

〒251-0042 神奈川県藤沢市辻堂新町1-1-2 クロスポイント湘南6F

TEL 0466 (36) 0627 FAX 0466 (33) 4892 URL : <https://www.ukuta.net/>

** 編集部では皆様に喜んでいただける紙面にしたいと思っております **

お読みになったご感想、お読みになりたい記事等のご意見をお聞かせくだされば幸いです。

(e-mail : k-shimura@ukuta.net 又は上記FAXにて)